



特集

# 未来へつなぐ 安心・活力創造 平成24年度予算紹介

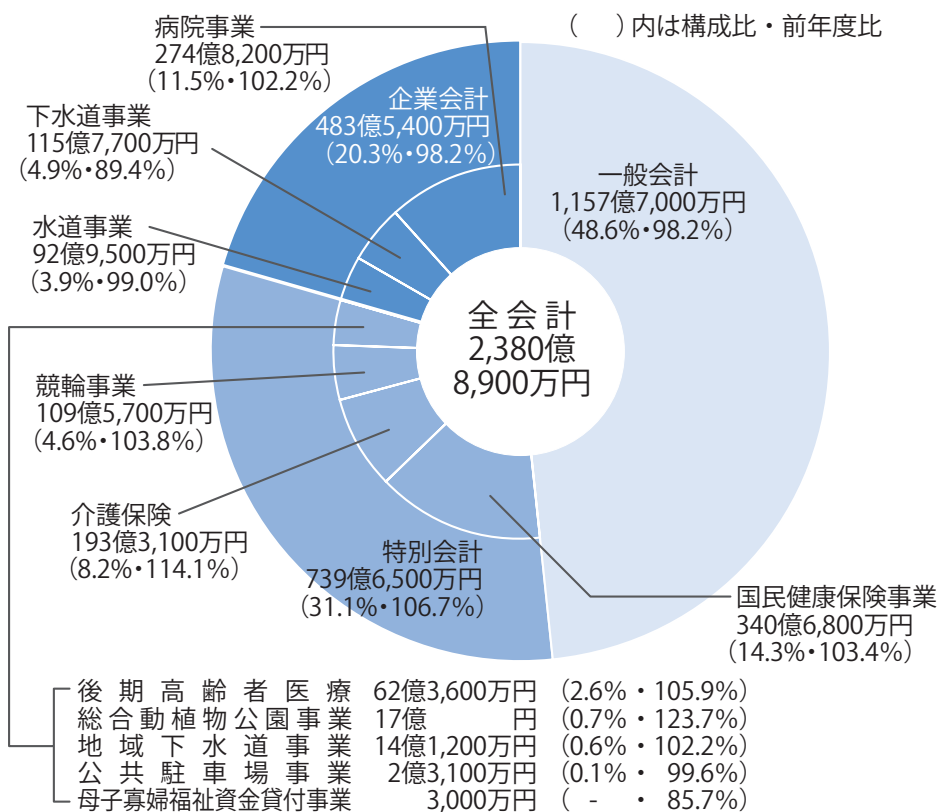
問合せ先 財政課 (☎ 51・2117 <http://www.city-toyohashi.aichi.jp/zaisei/yosan.html>)

## 平成24年度予算規模 2,380億8,900万円(前年度比0.7%増)

平成24年度は、「第5次総合計画」の「まちづくりの大綱」を柱に、産業の発展と活力創造を目指した地域の活性化、福祉・健康・医療の充実した市民生活の安全安心の確保、子どもたちの学ぶための環境づくりを優先した教育の充実、地球温暖化防止の実践を中心とした環境対策、東日本大震災の教訓を生かした津波対策をはじめとする災害に強いまちづくりなどに取り組みます。

### ●各会計の予算規模●

一般会計	1,157億7,000万円 (前年度比1.8%減)
特別会計	739億6,500万円 (前年度比6.7%増)
企業会計	483億5,400万円 (前年度比1.8%減)



## 「第5次総合計画」の着実な進展を図る

平成24年度予算は、第5次総合計画の着実な進展を図るため、市民生活の安全安心とまちの活力を高めるとともに、豊橋の将来へとつながる施策を盛り込んだ「未来へつなぐ、安心・活力創造型予算」として編成しました。



昨年9月に誕生したアジアゾウ「マール」



市民病院



ええじゃないか豊橋伝播隊 DOEE



首都圏での物産展のようす



アクティブシニア活動の充実

# 活力と魅力にあふれる 活まちづくり

## シティブロモーション活動の展開

豊橋の魅力を再認識し、全国へ発信するシティブロモーション活動を展開します。

- ・アジアゾウ「マール」誕生日関連イベントの実施
- ・エフエム豊橋による若者向け豊橋PR番組の放送
- ・ええじゃないか豊橋伝播隊<sup>でんぱたいドゥッパ</sup>DOEEの活動支援
- ・首都圏での物産展販売促進キャンペーンの実施

## 豊橋産農産物ブランド化の推進

豊橋産農産物の販売促進およびPR活動を行います。

## 食農産業クラスターの推進

植物工場の実証研究にかかる費用の一部を助成するほか、農工商連携商品などの認知度向上と販路拡大を図るため、販売促進イベントを開催します。

## 豊橋産農産物などの海外販路の開拓

豊橋産農産物や加工品の海外販路拡大のため、海外の見本市への出展やバイヤーの招へいを行います。

## 新農業の推進

施設園芸用の暖房燃料として木質ペレットを使用した栽培実証試験を行います。

## 中心市街地活性化社会実験の実施

広小路通りにおいて歩行者天国を実施するほか、公共駐車場料金の見直しなどの社会実験を行います。

## 産業プロモーションの推進

豊橋産農産物などの消費拡大および知名度の向上を図ります。

- ・手筒花火、ええじゃないか豊橋伝播隊DOEEのステージイベント、物産展からなる豊橋PRイベントを首都圏で開催
- ・首都圏のマンションなどで豊橋産農産物を販売する事業者へ費用の一部を助成

## 総合動植物公園「のんほいパーク」の再整備

アジアゾウ舎の増築や放飼場の拡張を行います。

# 健やかに暮らせる 活まちづくり

## 障害福祉サービスなどの充実

障害者の相談支援の中核を担い、困難事例への対応や関係機関との調整などを行う「とよはし総合相談支援センター」を開設します。

## アクティブシニア活動の充実

シニア世代が興味を持つ市民活動や生涯学習などの啓発活動をウォーキング大会と同時に開催します。

## 子ども医療費助成の拡大

通院の場合の助成対象者を、中学3年生まで拡大します（中学生は自己負担額の半額を助成）。

## 予防接種事業の充実

乳児を対象としたロタウイルスの予防接種費用の一部公費負担を実施します。

## 市民病院医療体制の充実

平成26年度の開設に向けて、総合周産期母子医療センター、パースセンターの整備を行います。



市役所西館の緑のカーテン



デジタル教科書を使った授業のようす



「プラット」(完成イメージ)



二川宿の商家「駒屋」



放課後児童クラブのようす

# 心豊かな人を育てる まちづくり

## 「プラット」の整備

平成25年5月の開館に向けて、建設を推進するほか、プレイベントの充実を図ります。

## アイプラザ豊橋の整備

平成25年4月の利用開始に向けて、リニューアル工事などを行います。

## 新入学児童学級対応等支援事業の充実

学校生活の支援をするため、新入学児童および発達障害児童に対する支援員を10人増員します。

## 授業・学習支援センターの充実

授業の質的向上を図るため、教育会館にコーディネーターを1人配置するほか、各小・中学校などの図書

を有効活用するため、蔵書検索システムを導入します。

## 特別支援学校の整備

平成27年4月の開校に向けて、基本設計を行います。

## デジタル教科書の導入

学習意欲を高め、わかりやすい授業を実現するため、小・中学校に理科のデジタル教科書を導入します。

## 南稜中学校体育館棟の整備

学習環境の向上を図るため、特別教室を含んだ体育館棟の建設工事に着手します。

## 社会教育施設などの整備

平成26年度の開館に向けて、南稜地区市民館(南地域図書館(仮称)・大清水窓口センターとの複合施設)の基本設計および実施設計を行います。

## 放課後児童対策の推進

公営児童クラブ2か所と放課後子ども教室1か所を新たに開設します。

## 二川宿の商家「駒屋」の整備

平成27年11月の開館に向けて、江戸時代の商家の遺構である「駒屋」の修復復原に着手します。

# 環境を大切に まちづくり

## 地球温暖化対策の推進

地球温暖化防止を実践する取り組みを行います。

・緑のカーテン講習会の開催

・節電チャレンジキャンペーンの実施

・天伯校区市民館で館内全ての照明をLED化

## 新エネルギーの導入促進

住宅用燃料電池システム(エネファーム)の設置費用の一部を助成します。

## 自然環境保全の推進

自然環境の保全や市民啓発などの施策の推進に向けた調査を実施するほか、ヒガタアシなどの外来種駆除対策を行います。

## 剪定枝リサイクル施設の供用開始

公園樹などの剪定枝をチップ化して再生利用するための剪定枝リサイクル施設を供用開始します。

## 緑化事業の推進

豊橋鉄道市内線「駅前大通」電停で、軌道の芝生化に向けた軌道緑化実証実験を行います。



橋梁長寿命化事業の実施  
(橋梁点検のようす)



東日本大震災の被災地（宮城県亶理郡山元町）で  
支援活動をする本市消防職員



剪定枝リサイクル施設



平成 23 年度に建て替えた南栄住宅（第 1 期）



地域防災力の強化  
(防災リーダー講習会のようす)

# 安心して暮らせる まちづくり

## 地域防災力の強化

自主防災組織の災害活動時に必要な備蓄食料などの整備にかかる費用の一部を助成します。

## 災害への対応強化

東日本大震災の教訓を生かし、災害への対応強化を図ります。

・市民懇談会を設置し、減災計画（アクションプラン）の策定を検討

・国、愛知県の被害想定に基づいた地震被害予測調査を実施

・エフエム豊橋を通じて災害時に緊急情報が伝達できるよう、自動起動が可能な防災ラジオの一般世帯への普及を促進

・市内全域の標高、津波避難ビルなどを示した防災標高マップの作成

・市内事業者や市民が所有する井戸を「防災井戸」として指定し、長期断水時の生活用水を確保

・備蓄食料などの保管場所として豊橋公園に防災備蓄倉庫を整備

・備蓄目標の見直しに伴う備蓄食料の増強や災害時に必要な資機材を整備

## 耐震化の促進

耐震診断の結果、耐震性がないと診断された木造以外の住宅・共同住宅の耐震改修費用の一部を新たに助成します。

# 快適で利便性の高い まちづくり

## 情報化の推進

市役所東館1階と13階にフリースポット（開放用無線LAN）を整備します。

## 橋梁長寿命化事業の実施

橋梁の長寿命化を図るため、平成23年度に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」による計画的な補修を行います。

## 公営住宅の整備

新植田住宅（第2期）の建替工事に着手するほか、南栄住宅（第2期）建て替えに向けた実施設計を行います。

## 中心市街地再開発の推進

広小路三丁目A・2地区の整備や駅前大通二丁目地区の再開発推進計画の作成に対して助成します。

## 都市交通計画の推進

通勤時間帯における渋滞対策、交通に対する意識変革などを目的に、「とよはしエコ通勤実践運動」の実施に向けた社会実験を行うための実施計画を策定します。

## 自転車利用の促進

安全で快適な自転車利用環境を構築するための自転車利用推進計画を策定します。

## 快適なまちづくりの推進

ごみのポイ捨てや路上喫煙などの防止対策として、豊橋駅周辺において啓発活動に取り組みます。